

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局 街路課

担当課長名：松谷 春敏

事業名	都市計画道路 <small>ちゅうおうちょうかなやせん</small> 中央町金矢線	事業区分	街路	事業主体	青森県	
起終点	<small>あomorikenkamikitakunoirasechōsumiyoshiyōnchōyūme</small> <small>あomorikenmikawashikazugadaiinchōyūme</small> 自：青森県上北郡おいらせ町住吉4丁目 至：青森県三沢市春日台二丁目			延長	1.6km	
事業概要 都市計画道路中央町金矢線は、三沢市街地南部を東西に貫き、高規格道路ICおよび周辺主要地方道とを連絡する市の骨格幹線道路である。本路線の整備は、JR三沢駅周辺の横断道路における慢性的渋滞を緩和するとともに、近接する旧三沢街道踏切の除却により、踏切事故の抜本対策となるものである。						
H5年度事業化		H8年度都市計画決定 (H 年度変更)		H8年度用地着手		
				H15年度工事着手		
全体事業費	106億円	事業進捗率	55%	供用済延長	0km	
計画交通量	8,300台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	1.8	総費用 (残事業)/事業全体	42/109億円	総便益 (残事業)/事業全体	200/200億円
	(残事業)	4.7	事業費	41/108億円	維持管理費	1.0/1.0億円
			走行時間短縮便益	172/172億円	走行経費減少便益	17/17億円
			交通事故減少便益	11/11億円	基準年 平成18年	
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（駅周辺アクセス向上、主要な物流拠点へのアクセス向上、踏切除却による円滑な交通の確保に資する） ・都市の再生（周辺開発計画との連携により都市の再生に寄与する） ・個性ある地域の形成（アメリカ村計画の支援、周辺観光地へのアクセス向上による個性のある地域の形成に資する）						
関係する地方公共団体等の意見 本路線は、三沢駅周辺の慢性的な渋滞解消、既存踏切の事故対策、更に平成22年度開業予定の東北新幹線関連街路であり県の重点事業の一路線として要望を受けている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 三沢市では、平成19年11月30日に新たに認定された中心市街地活性化計画に基づきアメリカ村等の整備が進められており、中心市街地へアクセス路線である当該路線の早期整備が望まれている。						
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成15年度から工事着手し、今年度で用地補償完了を予定している。現在、橋梁の前後に位置するトンネル工の整備を進めている。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・用地取得にあたり筆界未定地があり手続きに時間を要した。 ・平成22年度開業予定の新幹線関連街路であり、今後重点的に事業を推進していく予定である。						
施設の構造や工法の変更等 橋梁形式をエクストラードード橋から鋼橋に変更し経費の節減を図ることとしている。						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらない					
事業概要図 別紙 参照						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

中央町金矢線 事業概要図

